

5回目コロナワクチン接種

朝晩の寒さに秋の深まりを感じる季節になりました。その昔(昭和40年代)、先代の斎藤医院では冬になると畳敷きの待合室にこたつが置かれ、そこでお年寄りたちが談笑しながら順番を待つという風景が当たり前でした。今のコロナ禍では考えられない過去の風物詩となってしまいました。それくらい人と人との距離が近い緩やかな時代でした。

さて、現在かかりつけの医療機関では、特定健診とインフルエンザワクチン接種とコロナワクチン接種で忙しい日々が続いています。ただし、10月になってコロナの患者数が少なくなったため、以前ほどの爆発的な患者さんの増加は今のところありません。またコロナワクチン接種にしても高齢者以外は接種率が低迷しているのが現状です。いつまでワクチンをやらなければならないのか？という議論はともかくとして、今後高齢者に5回目のコロナワクチンの接種券が配られる予定になっており、11月、12月は医療機関に多くの対象者が訪れると予想されます。今年はコロナとインフルが同時流行するという専門家の意見もあり、その時期がワクチン接種と重なった場合、医療機関の混雑はピークに達すると危惧されます。御殿場市ではコロナワクチン接種は従来通り集団接種も計画されており、対象者が医療機関に集中しないように配慮されています。これに伴って先生方にも接種会場に出動していただくことになっており、お忙しい時期大変ですがなにとぞご協力をお願いします。

